

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	GRIPキッズー之江校		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 21日		～ 2026年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	41名	(回答者数) 25名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 21日		～ 2026年 2月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 10名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	施設内の規模が比較的コンパクトであり、 児童一人ひとりの様子を把握しやすい環境となっている。	見通しの良い環境を活かし、児童の様子を把握しやすい体制づくりを行っている。個々の特性に応じて活動スペースを使い分け、個別・集団それぞれに適した環境で過ごせるよう配慮している。	利用児童の特性や人数に応じて、より活動しやすい空間づくりを検討していく。限られたスペースの中でも安全面に十分配慮しながら、安心して過ごせる環境整備に努める。
2	内容に変化を持たせた活動を継続的に取り入れており、 児童の興味関心に応じた経験の機会を提供できている。	定期的に活動内容を見直ししながら、バリエーションのあるプログラム提供を行っている。児童の様子や変化を丁寧に伝えること、無理なく参加できる内容となるよう工夫している。	既存の活動内容を大切にしつつ、新たなプログラムの導入や内容の見直しを行い、より幅広い経験につながるよう取り組んでいく。
3	保護者との連携を大切にしながら支援体制を整えており、 継続的な情報共有とサポートが行えている。	日々の送迎時のやり取りや記録を通して、保護者との情報共有を継続的に行っている。児童の様子や変化を丁寧に伝えること、安心して利用していただける関係づくりを意識している。	現在の連携体制を維持しながら、保護者の意向や児童の状況に応じた支援がより行えるよう、情報共有の方法や関わり方の工夫を検討していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域や関係機関との連携・交流の機会について、 今後の取り組みとして検討を進めていく必要がある。	現時点では、地域住民や子どもとの交流の機会を設ける予定がなく、実施には至っていない。安全面への配慮等も踏まえ、具体的な開催の検討段階には至っていない状況である。	地域交流については、実施を求めない意見もあるため、利用者や保護者の意向を踏まえながら、必要性を見極めつつ慎重に検討していく。
2	保護者同士やきょうだい間の関わりを深める機会の創出など、 家族全体を支える支援について今後の検討が求められる。	アンケート結果から、開催の必要性を感じていないという意見が多く見られた。背景として、開催された場合でも仕事等の都合により参加が難しいことや、現時点で必要性を感じにくいといった声が挙げられている。	保護者の意向を踏まえた上で、今後の交流機会の在り方について検討を進め、無理のない形で実施の可能性を探っていく。
3			